

# 令和4年度周南市こども育成支援対策審議会(第6期第5回)会議録

日 時	令和4年8月4日(木) 13時30分～15時00分
場 所	周南市本庁舎5階 委員会室3
議 事	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第2期周南市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について</li> <li>第2期周南市子ども・子育て支援事業計画中間年の見直しの進め方について</li> </ol>
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 委員9名 ※会議成立(欠席:木村委員、秋重委員、原委員) 井上会長、兼重副会長、竹下委員、田中委員、渡山委員、大野委員、加村委員、小林委員、山本委員</li> <li>● 事務局16名 こども・福祉部こども局 穴田局長 次世代政策課:綿野課長、徳田課長補佐、高木係長、坂田主任 こども支援課:上野課長、石田課長補佐、有福課長補佐、吉松係長、松村係長 あんしん子育て室:柿並室長、宮崎室長補佐、橋所長 学校教育課:原田課長 生涯学習課:川上課長、福岡係長</li> </ul>

<b>議題1 第2期周南市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について</b>	
資料 第2期周南市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況(以下「資料1」という。)	
◎会長	議題の件について、こども支援課から説明をお願いします。
□事務局	<p><b>こども支援課</b></p> <p>資料1により、教育保育施設の需要量及び確保方策、利用者支援、一時預かり、延長保育、病児保育、実費徴収に係る補足給付の各事業について取組状況等を説明。</p> <p>質疑なし。</p>
□事務局	<p><b>あんしん子育て室</b></p> <p>資料1により、利用者支援、地域子育て支援拠点、妊婦健康診査、乳児家庭全戸訪問、養育支援訪問の各事業について取組状況等を説明。</p> <p>質疑なし。</p>

□事務局	<p><b>次世代政策課</b></p> <p>第2期計画により、地域における居場所づくり、ひとり親家庭への就労支援、児童手当等の給付事業、こども医療費助成事業、養育費の確保に向けた支援について取組状況等を説明。</p>
	<p>質疑なし。</p>
□事務局	<p><b>生涯学習課</b></p> <p>資料1により、児童クラブ事業について取組状況等を説明。</p>
	<p>質疑なし。</p>
□事務局	<p><b>学校教育課</b></p> <p>第2期計画により、学校図書館活用推進事業、GIGAスクール構想推進事業、学校家庭支援専門家配置事業について説明。</p>
○委員	<p>スクールソーシャルワーカーの取組について伺いたい。</p> <p>スクールソーシャルワーカーを県の助成で6名、市の単独予算で1名配置されていると聞き、市独自での配置について、素晴らしいことだと思った。</p> <p>コロナ禍ということもあり、子育てや教育指導の中での不安など、家庭、保護者の中にもストレスを抱えている方がたくさんいると思うが、7名の体制でしっかり回っているのか。十分機能しているのか、それともこの人数でも厳しいのか現状を聞かせてほしい。</p>
□事務局	<p><b>学校教育課</b></p> <p>委員ご指摘のように実際のところ現状厳しい状況である。スクールソーシャルワーカーの業務は短い期間で終わる事案は少なく、長期にわたる事案が多い。そのため、新規の事案に対応することが難しくなっている。今年度、市の予算で1名配置した背景には、新規の事案に対応するためという事情もある。</p> <p>委員がおっしゃるようになだだ十分な状況ではない。</p>
○委員	<p>今後、市独自でスクールソーシャルワーカーの配置等を手厚くするというような構想や展望などあればお聞かせいただきたい。</p>
□事務局	<p><b>学校教育課</b></p> <p>市独自では難しいかもしれないが、市長会でも同様の意見が出ているので、県にもこの意見を吸い上げていただきたいと思っている。</p>
◎会長	<p>議題1の全体を通して、ご意見・ご質問があればお願いします。</p>
○委員	<p>資料1の7ページ目の、あんしん子育て室の評価のところに助産師の配置、とある。この助産師の配置について、各支援センターに配置さ</p>

	れているのか。それとも地域によって配置する人数に差があるのかお聞かせいただきたい。
□事務局	<b>あんしん子育て室</b> 助産師については、基本的には子育て支援センターぞうさんの家に配置しており、そこを起点にして各センターを巡回している。 令和3年度は毎月1回半日単位で、各センターを巡回していた。今年度は一日単位で巡回している。
○委員	保育園について聞きたい。年度初めに保育園に入園するのは入りやすいようだが、年度途中に入るのは難しいという話をよく聞く。保育士の数は足りているのか。
□事務局	<b>こども支援課</b> 年度当初は、保護者等が希望されればどこかの保育園・幼稚園等に入れる状況にはなっているが、年度途中で入れないケースが多くある。その原因としては保育所等の定員等の事情もあるが、保育士が十分に確保できていないということが一番の原因であると考えている。
○委員	市で保育士を募集するという事は考えているのか。
□事務局	<b>こども支援課</b> 市の保育所については正規の職員、非常勤の職員とも、随時、募集を行っている。
<b>議題2 第2期周南市子ども・子育て支援事業計画中間年の見直しの進め方について</b>	
<b>資料</b> 第2期周南市子ども・子育て支援事業計画中間年の見直しの進め方について（以下「資料2」という。）	
◎会長	議題2について、事務局から説明をお願いします。
□事務局	<b>次世代政策課</b> 資料2に従い、第2期周南市子ども・子育て支援事業計画中間年の見直しの進め方について説明。
□事務局	<b>こども支援課</b> 資料1、資料2により、教育・保育施設の需要量及び確保の方策の見直しについて説明。
□事務局	こども支援課、あんしん子育て室、生涯学習課の順に、資料1、資料2により、「地域子ども・子育て支援事業の需要量及び確保の方策の見直し」について説明。

◎会長	議題2の審議を修了する。
その他	
◎会長	その他、意見、質問等あればお願いします。
○委員	今回の知事会でコロナ対策についての取扱いを変えてほしいという要望が挙がっていたが、これにより、利用者の使い控えなどの状況が今後どのように変化してくると考えているか。
□事務局	子育て支援センターについては、令和2、3年度、コロナの影響で臨時閉所、利用者の使い控えがあった。 今年度も昨年度に引き続き午前・午後の予約制とし、消毒を徹底した上で運営している。 今後は新たなコロナ対策の方向性を見据え、開所日等の見直しや体制について検討していきたい。
○委員	数日前、小中高、大学にも「危害を加える」というような内容のメールが届いたと聞いている。今回は夏休み中で子ども達の生活に大きな影響はなかったが、学期中であれば影響が大きかったと考える。このような世間を騒がせるようなメールについて、市としてはどのような対応を考えているのか。
□事務局	メールについては今年度に入り複数件、自治体等に送られている。対応については各自治体に任されているが、本市においては、子どもに危害を加える内容であれば、入手した情報を学校、幼稚園、保育園等を通して保護者等に周知し、注意喚起を図るということを基本的なスタンスとしている。
○委員	子ども達に防犯ブザーを持たせているが、不審者等に遭遇した際、防犯ブザーを鳴らすということが徹底されていないようだ。 状況を早く知らせる手段として防犯ブザーを活用し、自分の身を自分で守るためにも、学校での指導を少し見直したらいいのではないか。
□事務局	自分の身は自分で守ることが大事だと私達も認識している。 子どもたちには、「いかのおすし」等の言葉を使って不審者等、気になることがあれば対応するように学校でも指導している。不審者等に遭遇した際の対応の一つとして、防犯ブザーの使い方についても指導していきたい。
○委員	昨年度、地域子育て支援センターを訪問した。センターの職員の熱心な関わりにより、利用者がリフレッシュしている様子が伺えた。 このような、市として努力していること等をイベントのパネル展示な

	どにより市民にアピールすることも大事なのではないか。
□事務局	地域子育て支援センターでは保育士、助産師など様々な資格を持つ職員がその専門性を活かし、創意工夫を重ね、保護者等に対応している。センターの利用状況や様々な情報について、母子モのアプリや市のホームページ等で発信している。今後もセンターの運営やPRも含め、しっかり取り組んでいきたい。
◎会長	質疑を終了する。
□事務局	様々な貴重な意見をいただいた。次の審議会は11月中旬に開催を予定している。引き続きご協力をよろしくお願いしたい。